

月・考査等	単元名	指導内容	評価規準			評価方法	補助教材	指導上の改善点など	知識・技能	主体的に学習に取り組む態度
			知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】					
	薬業科・商業科・海洋科	1学年	保健体育	保健	1					
個人および社会における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。										
4	【現代社会と健康】 健康の成り立ち 私たちの健康のすがた	・健康の考え方がどのように変化してきたか理解する。 ・健康の成立には様々な要因が関わっていること 理解する。	我が国の死亡率、受胎率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康水準及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会状況が関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法を整理している。 ・健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	・健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。					
5	生活習慣病とその予防 がんの原因と予防 がんの治療と回復	・生活習慣病のリスクを軽減し予防するために必要な個人の取り組みについて理解する。 ・生活習慣病の予防や回復のために必要な社会の取り組みについて理解する。	がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり	・生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を整理している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	・生活習慣病などの予防と回復について、課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。	行動観察 制作物確認 ノート確認 レポート確認				
6	運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康	・身体活動・運動と健康の関係について理解する。 ・身体活動・運動の継続的な実践に必要な個人と社会の取り組みについて理解する。 ・食事と健康の関係について理解する。 ・健康的な食生活の実践に必要な個人および社会の取り組みについて理解する。 ・休養・睡眠と健康の関係について理解する。 ・適切な休養・睡眠の確保に必要な個人および社会の取り組みについて理解する。	がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり	・生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を整理している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	・生活習慣病などの予防と回復について、課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。	行動観察 制作物確認 ノート確認 レポート確認				
7	喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康	・喫煙による健康への影響について理解する。 ・喫煙による健康被害の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解する。 ・飲酒による健康への影響について理解する。 ・飲酒による健康被害の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解する。 ・薬物乱用による健康および社会への影響について理解する。 ・薬物乱用の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解する。	・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な酒類の消費などの個人への働きかけ、及び法的な規制を含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・大麻、MDMAなどの麻薬、覚醒剤、大麻、などの薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を整理している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	・喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。					
8	精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患の回復	・代表的な精神疾患の特徴や症状について理解する。 ・精神疾患の発症、回復のポイントを理解する。 ・精神疾患の予防や早期発見、治療や支援など適切な対応について理解する。 ・心の健康の実現を目指した取り組みの重要性について理解する。	・精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物学的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神生活が不調になった状態であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害などは、誰もが罹患しうることで、若年で発症する疾患が多いこと、適切な対応により回復し生活の質の向上が可能であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・精神疾患の予防と回復には、心身の健康と調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応について身体づくしの運動などのリラクゼーションの方法でストレスを軽減することなどが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・精神疾患の予防と回復について、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を整理している。 ・精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ・精神疾患の予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	・精神疾患の予防と回復について、課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。	行動観察 制作物確認 ノート確認 レポート確認				
9	現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防	・感染症の発生や流行には自然や社会の環境が影響することについて理解する。 ・新興感染症や再興感染症の発生や流行の現状とその理由について理解する。 ・性感染症・エイズの現状と今後の課題について理解する。 ・性感染症・エイズの予防に必要な個人および社会の取り組みについて理解する。	・感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、交通網の発達により短時間で広がりがやすくなっていること、新たな病原体の出現、遺伝子変異による変異、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検査、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であることについて理解したことを言ったり書き出したりしている。 ・エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について理解したことを言ったり書き出したりしている。	・現代の感染症とその予防における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を整理している。 ・現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	・現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。					
10	健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり	・健康を保持・増進するには適切な意思決定・行動選択が必要であることを理解する。 ・意思決定・行動選択は様々な要因により影響を受けることを理解する。	・適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	・健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	行動観察 制作物確認 ノート確認 レポート確認				
11	事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通安全における安全	・様々な場面で起こる事故とその被害の実態について理解する。 ・事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることを理解する。 ・交通安全防止には個人の取り組みと交通環境の整備が必要であることを理解する。 ・交通安全には補償などの法的責任が生じることについて理解する。 ・安全な社会をつくるために必要な個人の取り組みを理解する。	・事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面に発生していること、事故の発生には、道路の状況や交通ルール、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・交通安全防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・事故を防止したり事故の発生に伴う被害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などをとり上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・安全な社会づくりについて、安全に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を整理している。 ・安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理したことを言ったり書いたりしている。 ・交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 ・安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	・安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	行動観察 制作物確認 ノート確認 レポート確認				
12	応急手当の意義とその基本	・応急手当の意義と、その手順や方法を身につける必要性について理解する。 ・救急医療体制の仕組みと社会的整備の必要性、適切な利用方法について理解する。	・適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防止し、傷病者の苦痛を緩和したりすることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に適切に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けることにより、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・応急手当について、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を整理している。 ・応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に活用している。 ・応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	・応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	行動観察 制作物確認 ノート確認 レポート確認				
1	日常的な応急手当	・日常生活で起こるけがの基本的な応急手当の方法を理解し、できるようにする。 ・熱中症の予防および基本的な応急手当の方法を理解し、できるようにする。	・日常生活で起こるけが、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解し、応急手当ができるようになる。							
2	心肺蘇生法	・心肺蘇生法の意義や方法、手順について理解する。 ・心肺蘇生法ができるようになる。【実技】	・心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが重要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりし、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。	・応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に活用している。	・応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	行動観察 制作物確認 ノート確認 レポート確認				



学科名		学年	教科	科目	単位数	教科書		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
産業科・商業科・海洋科		2学年	保健体育	体育	2					
科目の目標		社会の変化にともなうスポーツの役割と楽しみ方の変化、ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方について関心をもつことができる。								
月・考査等	単元名	指導内容	評価規準			評価方法	補助教材	指導上の改善点など		
4	体育理論・体づくり運動 陸上競技	・自己の体に興味をもち、自己の体力や生活に合った課題をもって、体の調子を整えるなどの体をほぐしたり、体力を高めます。	・体づくり運動は、心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わう機会があることについて、書ったり書き出ししたりしている。 ・自分の出した動作で消費したエネルギーの量を測り、実際に走り回ったりすることを通して、気持ちよく走り回ることができる。	・体づくりの運動で、「心と体の関係や身体状況に気付く」「仲間と積極的に関わろう」ということを踏まえて、自分に合った運動を選んで行う。	・体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・仲間を補助したり助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。	生徒観察 確認テスト	アクティブスポーツ	○	◎	
		・短距離走・リレーでは、自己の最大のスピードを高めたリ、スピードを生かしたリフタスでリレーをいれたりして、個人やチームのタイムを短縮したり、競争したりする。	・陸上競技は、自己の記録に挑戦したり、競争したりする楽しさや喜びを味わうことについて、書ったり書き出ししたりしている。	・提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを促している。	・陸上競技の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・用具等の準備や後片付け、記録などの分組した役割を果たそうとしている。	測定テスト			○	○
5	選択授業1 器械運動 バスケットボール バレーボール	・身につけた技能を様々な場面で活用できる。 ・学習の決まりを守り、練習やゲームなど健康・安全に留意した活動ができる。	○知識 ・各科目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。	・選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間と伝えている。 ・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。	・学習に自主的に取り組もうとしている。 ・相手尊重などのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。	生徒観察 技術テスト	アクティブスポーツ	○	◎	
		・チームにおける自分の役割を果たし、ゲームをすることができる。 ・自分やチームの能力に応じて、工夫して練習やゲームができる。 ・基本的な技能の練習を行い、それらをゲームで使えるように取り組み、ラリーを楽しむことができる。	・実践に必要な技術と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることについて、書ったり書き出ししたりしている。 ・練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、書ったり書き出ししたりしている。	・選択した運動に必要な準備運動や自己を取り組む補助運動を選んでいる。 ・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について選んでいる。	・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。 ・互いに練習相手になったり仲間を助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。					
中間考査										
6	選択授業1 バドミントン ソフトボール	・自己の能力に応じた技を習得するための課題を設定し、その解決に向けて練習の仕方や技の構成、発表の仕方工夫できる。 ・ルールやマナーを守り、公正な態度で取り組むことができる。 ・ゲームのなかで、状況に応じた個人技能を使うことができる。	・実践に必要な技術と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることについて、書ったり書き出ししたりしている。 ・練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、書ったり書き出ししたりしている。	・チームで分組した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることについて、書ったり書き出ししたりしている。 ・練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、書ったり書き出ししたりしている。	・チームで分組した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることについて、書ったり書き出ししたりしている。 ・練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、書ったり書き出ししたりしている。	生徒観察 技術テスト	アクティブスポーツ	○	◎	
		・仲間と協力しながら積極的に練習ができる。 ・各ポジションの役割について理解することができる。	・実践に必要な技術と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることについて、書ったり書き出ししたりしている。 ・練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、書ったり書き出ししたりしている。	・提示された通りのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間やグループの課題や出来映えを促している。	・ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。 ・仲間の手助けをしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。	生徒観察	アクティブスポーツ	○	◎	
期末考査										
9	ダンス(男女) 創作ダンス	・思い切り動く、感情を込めて歌い込む楽しさや喜びを味わおうとするとともに、協力して練習することができる。 ・チームからイメージを膨らませて、動きを作り出すことができる。	・ダンスは、仲間と協力して歌い込む、イメージを伝えて自己を表現したりするとともに、楽しさや喜びを味わうことができることについて、書ったり書き出ししたりしている。	・提示されたテーマや表現の仕方で、自己やグループの課題に合った練習方法を選んでいる。	・簡単な作品制作などについての話し合いに参加しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた表現や発表の仕方などを認めようとしている。	生徒観察 発表評価	アクティブスポーツ	○	◎	
		・身につけた技能を様々な場面で活用できる。 ・学習の決まりを守り、練習やゲームなど健康・安全に留意した活動ができる。 ・チームにおける自分の役割を果たし、ゲームをすることができる。	○知識 ・各科目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。	・選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間と伝えている。 ・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。	・学習に自主的に取り組もうとしている。 ・相手尊重などのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。					
10	バレーボール テニス 卓球 バドミントン ソフトボール	・自分やチームの能力に応じて、工夫して練習やゲームができる。 ・基本的な技能の練習を行い、それらをゲームで使えるように取り組み、ラリーを楽しむことができる。	・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。	・選択した運動に必要な準備運動や自己を取り組む補助運動を選んでいる。 ・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について選んでいる。	・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。 ・互いに練習相手になったり仲間を助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。	生徒観察 技術テスト	アクティブスポーツ	○	◎	
		・自己の能力に応じた技を習得するための課題を設定し、その解決に向けて練習の仕方や技の構成、発表の仕方工夫できる。 ・ルールやマナーを守り、公正な態度で取り組むことができる。 ・ゲームのなかで、状況に応じた個人技能を使うことができる。 ・仲間と協力しながら積極的に練習ができる。 ・各ポジションの役割について理解することができる。	・実践に必要な技術と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることについて、書ったり書き出ししたりしている。 ・練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、書ったり書き出ししたりしている。	・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたらりする場面、よりよいマナーや行動について、自己の活動を振り返っている。 ・チームで分組した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。	・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。 ・互いに練習相手になったり仲間を助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。					
中間考査										
11	選択授業3 器械運動 バスケットボール サッカー バレーボール テニス	・身につけた技能を様々な場面で活用できる。 ・学習の決まりを守り、練習やゲームなど健康・安全に留意した活動ができる。 ・チームにおける自分の役割を果たし、ゲームをすることができる。	○知識 ・各科目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。	・選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間と伝えている。 ・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。	・学習に自主的に取り組もうとしている。 ・相手尊重などのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。	生徒観察	アクティブスポーツ	○	◎	
		・自分やチームの能力に応じて、工夫して練習やゲームができる。 ・基本的な技能の練習を行い、それらをゲームで使えるように取り組み、ラリーを楽しむことができる。	・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。	・選択した運動に必要な準備運動や自己を取り組む補助運動を選んでいる。 ・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について選んでいる。	・学習に自主的に取り組もうとしている。 ・相手尊重などのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。					
12	選択授業4 器械運動 バスケットボール サッカー バレーボール テニス 卓球 バドミントン ソフトボール	・自己の能力に応じた技を習得するための課題を設定し、その解決に向けて練習の仕方や技の構成、発表の仕方工夫できる。 ・ルールやマナーを守り、公正な態度で取り組むことができる。 ・ゲームのなかで、状況に応じた個人技能を使うことができる。 ・仲間と協力しながら積極的に練習ができる。 ・各ポジションの役割について理解することができる。	・実践に必要な技術と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることについて、書ったり書き出ししたりしている。 ・練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、書ったり書き出ししたりしている。	・チームで分組した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることについて、書ったり書き出ししたりしている。 ・練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、書ったり書き出ししたりしている。	・チームで分組した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることについて、書ったり書き出ししたりしている。 ・練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、書ったり書き出ししたりしている。	生徒観察 技術テスト	アクティブスポーツ	○	◎	
		・身につけた技能を様々な場面で活用できる。 ・学習の決まりを守り、練習やゲームなど健康・安全に留意した活動ができる。 ・チームにおける自分の役割を果たし、ゲームをすることができる。	○知識 ・各科目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。	・選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間と伝えている。 ・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。	・学習に自主的に取り組もうとしている。 ・相手尊重などのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。					
期末考査										
3										